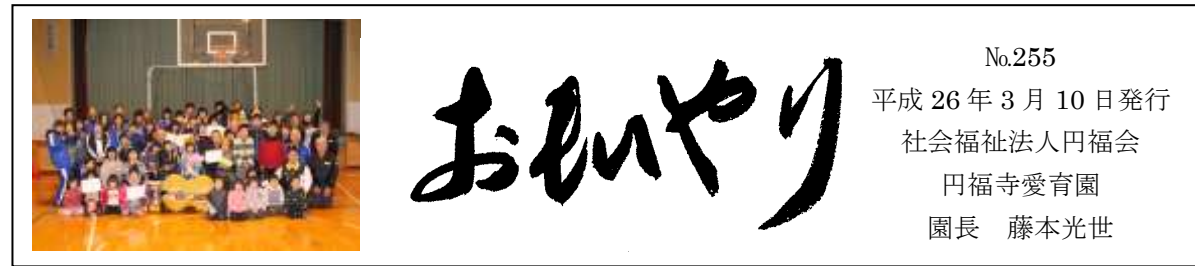


箸ピー大会の記念撮影です。



## 卒園

園長 藤本光世

3 月は愛育園の卒園の時期です。

卒園は長く生活した場からの巣立ちですから、子どもたちにとっての意味は学校の卒業より、ずっと重いのです。不安を胸に抱きながらも、愛育園と決別し、自立する決意をしなければなりません。

今年は、高校を卒業した 5 名の児童が卒園します。17 年、16 年が 3 名、8 年と長く当園で過ごした児童です。この間に、愛育園ではいろいろなことがありました。彼らはその歴史を背負っています。胸には小さいころからの様々な思いがあるのではないのでしょうか。

卒園式では、卒園児一人一人が登壇し、小さいころから愛育園に育った思いをおいでになっていた役員の皆様、関係者の皆様、園児たちの前で発表します。その発表は聴かれた皆様の心を打つでしょう。

私からみた一人一人を紹介します。

16 年または 17 年間で当園で過ごした 4 名は、1 歳または 2 歳で入所しています。とっても小さいころですね。まだ言葉が話せなかった子もいたでしょう。平成 13 年 5 月 3 日に放映された SBC スペシャル「もう一つの家族」に 4 名の子が出てきます。可愛いです。この子らは、私がこの仕事に入った平成 20 年度は中学 1 年生でした。あのころは、愛育園の職員問題がありましたので児童もその波にもまれました。荒れていました。職員の養育力も低く、申し訳なかったという思いがあります。

A 君は中学 3 年の勉強を頑張って普通高校へ進学しました。そこで、野球部に入部して 3 年間休まずに練習し、3 年の夏の甲子園予選では、レギュラーで出場して勝利に貢献しました。この高校にとって 10 年ぶりの勝利でした。A 君の周りに歓喜の輪ができました。この力を生かして、近くの工場に就職します。頑張っしてほしいと思います。

B 君は養護学校に進学しました。養護学校では、陸上やバスケットボールで活躍し、県の選手となって全国大会にも出場しました。その活躍は新聞にも載りました。真面目な性格を生かして、近くの工場に就職します。今は、自動車学校に通い、免許取得を頑張っています。これからは自分の持っている力をもっと伸ばして、頑張っほしいと思います。

C さんは、高校の時に挫折しそうになったのですが、職員の支えにより卒業まで頑張ると決意して、見事卒業できました。卒業式は感謝の日ですと、朝のおまいりでお話した時は横を向いていましたが、卒業式に参列した職員に聞くと、お世話になった先生方を回って泣きながら感謝の言葉を述べていたそうです。園に帰って卒業証書を見せてもらった時に、卒業できたのは誰のおかげですかと聞くと、自分と先生と答えていました。よかったね。美容師になるという志を実現してくださいね。

D さんは、調理関係の仕事に就くことを希望していました。高校時代は卓球部とアルバイトを続けましたね。立派だったと思います。球技大会では、卓球で活躍しました。進路は希望通りになりましたね。頑張ってください。

E さんは、進学した全日制普通高校で不登校になり退学してしまいました。でも、そのあと進学した定時制高校では、ほとんど皆勤で、生徒会役員も務めて卒業できました。4 年間も通うことができたのですから、立派ですよ。進路はお店に就職します。おいでになったお客様に喜ばれるようなおもてなしをしてくださいね。

園にいる間は、先生方の指導がありました。きっとそれを柀のように感じた人もいたでしょう。でも、それはみなさんの心を育て自立させるためでした。卒園すれば自由になります。園では制約されたこともできます。でも、自分でしたことの結果は自分が引き受けなければなりません。そんな厳しさがあることを自覚してくださいね。皆さんの活躍を祈ります。

## ホームページのリニューアル

ホームページを新規にリニューアルしました。創設と精神、養育方針、生活環境、年間行事、子どもの近況などをたくさんの写真を交えて作成してあります。「おみやり」も、子どもの写真に配慮して掲載いたします。行事の様子もカラー写真でお届けします。お時間のある時にご覧になってください。

URL は <http://enpukuji-aiikuen.com/> です。

円福寺愛育園で検索すると、古いホームページの画面になりますが、クリックすると新しいホームページに移行します。

## 行事

### 第 4 回 箸ピー大会を終えて

副園長 青谷 幸治

今年で箸ピー大会も 4 回目を迎えました。3 回を終えてぜひ全体行事としてもっと盛り上げていきたいという思いもあり準備をしてきました。また昨年、園長先生が国際箸学会の場で講演会の依頼を受けたことを機に昨年の暮れには my 箸作り、そして本番では来賓として県外から多くの方々に来ていただき盛り上げていただきました。

毎日、練習を重ねてきた子ども達でするので本番でも負けたくない一心で気持ちの入った競技になりました。また団体戦では、仲間を真剣に応援し個々が必死で豆を運ぶときの様子は、子どもたちの

日ごろの落ち着きと集中して物事に取り組む姿勢ができてきた現れだと思いました。団体戦の盛り上がりは体育館内いっばいに広がり全員の一体感と箸ピー大会の成功を意味しました。

残念なことは、当日の大雪のため国際箸学会の方々の到着が遅れ全体の様子をお見せすることができなかったことです。しかし、児童とふれあい施設の様子を知っていただけたことに感謝します。また当日まで準備して下さった先生方ご苦労様でした。来年は記念すべき 5 回目になります。今年度以上の行事になることを期待します。



本当にありがとうございました。

#### 国際箸学会理事長 小宮山栄 様からのお手紙



愛育園の皆さま

第 4 回箸ピー大会の大成功おめでとうございます。

私達東京から車で行った五人組は大雪のため大幅に遅れてしまい、競技を見れませんでした。新幹線で間に合った二人組は大変感動していました。

団体戦の応援の声の凄さ!!

それに対し、個人戦のピーナッツを動かす音だけの静けさ!!

今、ソチ五輪では十九歳のフィギヤースケートの羽生と四十一歳のスキージャンプの葛西に我々は大変感動しました。

しかし、愛育園の方がすごくて面白いと思いました。

オリンピック選手の場合は、お金をかけてしかも超エリートの中からしか生まれません。我々がどんなに努力しても選手になれないと思います。

然し、今回の箸ピーは 2 歳児から 70 歳過ぎまで全員参加です。応援や見学はすべて“生”です。ほんものを見て全員感動したと思います。最高を出したのは小学校三年生!! この数字は私が今まで聞いたことがないすごい最高記録!!

このゲームを企画運営された方々はすごい努力と工夫をされたと思います。

二〇二〇年には「オリンピック、パラリンピック」よりも「箸りんぴっく」が世界中に鳴り響くようにしましょう。

国際箸学会 小宮山 栄

#### 食材探しの旅～幻のフルコースを求めて～

保育士 酒井悠紀

2 月 2 2 日、晴天の中、乗り物体験行事『食材探しの旅～幻のフルコースを求めて～』が実施さ



白馬ジャンプ台

れました。今回の旅は、アニメ『トリコ』を題材にし、子どもたちは食材探しをするというものでした。子どもたちはそれぞれ行先が決まっており、当日までワクワクしながら待ちわびていました。

今回の目的地は、臥龍公園、長谷観音、東和田運動公園、善光寺、上越水族館、湯田中温泉、軽井沢、松本城、白馬ジャンプ台の 9 か所です。それぞれの目的地にまでは電車やバスを利用して向かいます。目的地、駅にはそれぞれ職員が配置され、安全に配慮します。

電車の時間はまちまち、一番早い子で 8 時発の電車です。

目的地には、ミッションが仕掛けられ、自分の手でミッション封筒を手にし、封筒を開けるまで子どもたちはどんなミッションが課せられているのか知りません。今回のミッションは買い物体験です。目的地が決まった日に、子どもたちは捕獲する食材だけを知らされます。食材をどのように捕獲するのか知りません。例えば、ほうれん草を捕獲する児童には、『オゾン草』、合いびき肉を捕獲する児童には『ジュエルミート』といったように、意味の分からない名前が記されています。そして捕獲するという意味が買い物であることも、封筒を開く瞬間まで伏せられています。いきなり買い物に行き、食材を購入することこそが今回の一大イベントでした。

それぞれも目的地についたら、まずヒントカードをもとにミッション封筒を探すことから始まります。設置してある場所もヒントカードを見ながら探します。しかし、念には念を入れて準備してきた計画も崩れることも・・・。

私が担当したのは松本城コースでした。駅からバスを利用し松本城を目指し、アリオ松本店にて買い物をする予定でしたが、先の大雪の影響で路線バス（タウンスニーカー）は機能しておらず、子どもたちは松本城までたどり着くことが出来ませんでした。また、下車する予定の駅で下車が確認できず、職員サイドが慌ててその先の駅に連絡を入れることもありました。結局は、しっかり決まった駅で降車していたのでした。それぞれのミッションが終了した児童から、帰園してきます。



湯田中温泉 足湯



そして購入してきた食材を持ち帰り、夕食へと向かうのでした。

そして夕食では、購入してきた食材で、円福寺愛育園のフルコースが用意されていました。オーシャンライス、アーモンドパープルセンチュリースープ、ラッピングジュエルミート〜エメラルドソース添え〜など、アニメからヒントを得ながら料理名も考えました。そしてデザートに、にじのみゼリーを用意し、そのゼリーに仕掛けを施し、この行事のエンディングへと突入します。ゼリーの中にスーパーボール（愛育園ボール）が入っており、暗号が記されています。暗号を解くと、いよいよお楽しみである宝物にたどり着きます。



案内した部屋にはには神龍（職員お手製）が立っており、子どもたちに問います。君たちの願いはなんだ？

子どもたちは、プロ野球選手になりたい、アイドルになりたい、みんなを幸せにしたいなど様々な願いが飛び交います。そしてまだ十分におしゃべりが出来ない幼児にマイクを向け、職員が予定通りに代読、『お菓子が欲しい』と。子どもたち全員も幼児の願いに賛同し、宝箱が子どもたちの目の前に現れます。お茶会が始まりました。子どもたちの大満足の表情に一日の疲れも吹き飛び、一緒に行事の最後を楽しみました。



あおぞらホーム 石黒 玄章

地区節分会

2月2日西横田地区の節分会が開催されました。当日は、園の小学生を始め地区の小学生約20名が円福寺に集合しました。

まず始めに、節分のご報告を子供たちがご住職（園長先生）と共に御本尊様へ行きます。愛育園の子供たちは日ごろの成果で般若心経を大きな声でお唱え出来ますが、慣れない子供たちは必死にお唱えしています。子供たちの姿は大きな仏様の御慈悲に包まれました。



お唱えが終わるとご住職（園長先生）より節分の説明がありました。そして「豆まきの掛け声は鬼は外・福は内と掛け声をしますが、鬼も寒い中可愛そうなので、鬼は内・福は内と掛け声をしましょう」とお話があり、ご住職（園長先生）の発声で「鬼は内・福は内」と声を掛けると子供たちも始めは緊張な面持ちながら、二度三度と繰り返すと「鬼は内・

福は内」と大きな声で掛け声を練習し、本堂は活気に溢れました。

その後子供たちは愛育園の体育館に移動して、年男・年女の子供達が練習の成果を発揮し、声高々に「鬼は内・福は内」と掛け声を掛けながら豆やお菓子を撒き、参加した子供たちは必死に拾っていました。

豆まきの鬼になって

あおぞらホーム 近藤 典雄

2月3日の節分の日、園内保育でも鬼のお面を作ったり、豆まき用の箱を作ったりと準備をして当日を迎えました。当日鬼役になっていた私と富沢先生、内山先生はそれぞれの色を体に塗り、トラがらのパンツをはき、お面をつけて、金棒を持って子供たちに気づかれないように談話室、食堂、



体育館と配置について子供たちの到着を待ちました。

子供たちが集まって豆まきが始まりました。「鬼は〜外」「福は〜内」元気な声が響きます。3回ほど続いて鬼の登場です。元気な歓声が一気に悲鳴に変わります。私は最後の体育館で待っていたので何が起こっているのかドキドキでした。談話室、食堂と鬼を退治してきた子供たちが体育館に到着しました。また「鬼は〜外」「福は〜内」と声を合わせて豆まきを始めます。そして、ここでも鬼の登場で一気に悲鳴にかかります。体育館では談話室で退治した赤鬼、食堂で退治した黄鬼も遅れて登場して三人の鬼が登場して大変な騒ぎになりました。勇敢に豆をまいて退治しようとする子や泣きながらも豆をまく子、先生にしがみついている子さままででした。しばらくして鬼は退散です。



体を洗って元の姿で話しかけると「鬼が出たよ」「鬼を退治したよ」と嬉しそうに話してくれました。これで今年一年、風邪をひかず元気に過ごせるのではないかと思います。



## 漢字検定

保育士 富沢 正樹

2 月 2 日、日本漢字能力検定協会の行う漢字検定を行いました。この漢字検定、今まで、児童がそれぞれ通う中学校、高校から申し込み書を持ち帰り、希望する子は申し込みをして学校で漢検を受ける。という形でしたが、なんと今回、漢検会場をこの愛育園に設置して漢字検定を行いました。



愛育園には学習指導の職員が 3 人おり児童の学力向上に努めています。また休みの日には学習ボランティアの先生に学習をみていただいています。

基礎的な学力が身につくにつれて、それが自信となって学校生活が円滑に進んでほしい。静かな環境と雰囲気を整えて、そんな中でもソワソワせずに落ち着いていられるようになってほしい。そんな思いを持ちながら、学習指導の職員を中心に児童の学習をみてきておりますが、この二年間ほどで児童の学習への取り組み方が大きく変化したように思います。特に小中学生に関しては、以前は宿題すらやらない。やっても、おしゃべりしながらザワザワとした集中できない環境の中で身にならない学習ばかり。何より学習が習慣となっておりませんでした。それが今では、小学生なら「学校から帰ったら、荷物を置いて、まず宿題」という流れが習慣化され、中学生や高校生も、夕食後の学習時間に顔を出す子が非常に増えました。

そんな学習の形が整いつつある中で、「更に何かやる気になれるもの、自信のつく取り組みをしたい。」と思案し、「みんなで漢検取得を目指してみてもいい？」という所から、今回の漢字検定につながりました。

園の児童には日常的な漢字でも読み書きを困難としている児童がおります。中学生でも、高校生でも。そんな児童に「例えば将来、自動車の免許が欲しくて教習所に通って、いざ教本を開いてみたら、漢字が読めなかった。なんて事になったら悲しいよね。」といった話をすると、毎日の学習の中に漢字の練習を取り入れる児童が増えました。特に養護学校に通う児童は、それまで学習する習慣のない子が多かったのですが、漢検の提案を行ってから、とても意欲的に学習するようになりました。ですが、この頃、私の頭の中には「愛育園を漢検の会場にしてしまおう。」なんていう大それた考えは微塵もなく、「実力がついてきたら、園で模擬テストをして、今まで通りそれぞれの学校で受けさせよう。」そう考えていました。ところが、園長先生から「子どもがこんなに頑張っているのだから、模擬テストなんかじゃなくて、園で本番のテストをやったらいんじゃないか！調べてみた？」というお言葉。「まさか？」と協会に問い合わせると、「申請を出して規約を遵守してもらえれば問題ありません。」との返答……何事も決めつけてかかっているはいけないという事を学びました。

無事に会場認定をもらい、子ども達にこの事を伝えると「受けたい、受けたい」と小学生から高校生まで 14 名の児童が漢字検定を受けました。当日は、何とも真剣な顔つきテストに向かう児童

ばかりで、テストを受ける振る舞いにすら子どもの成長を感じました。

現時点では、まだ結果が届いていないのですが、漢検取得目指して 7 か月間のたっぶりの練習を経て臨んだテストですので、なんとか良い結果が届いてほしいと思っておりますが、もし受からなくても第 2 回、第 3 回と続けていきたいと思っておりますので、引き続き漢字練習の取り組みに力を入れていきたいと思っております。

## 『バレンタインチョコレート作り』

栄養士：桐山 佳那



今年もこの季節がやってきました。

高校生は 2～3 週間前から、「今年は何作ろうかな？」「先生、私今年はコレ作りたいんだけど どう思う？」などと相談にきては、自分のイメージと力量との間をさまよいながら作るお菓子を決めました。チョコレートケーキにチョコプリン、生チョコ…etc 高校生ともなるとレベルアップしてひと手間もふた手間もかけたものを選んでいました。

小学生は、チョコレートを溶かしてかわいいスプーンに流しこんだり、小さなアルミのカップに流し込んでその上にキラキラしたアラザンや、かわいいトッピングをふりかけて固めるというのが主でしたが、細かい作業まで手を抜



かず、それぞれの思いを込めながら丁寧に作っていました。

そして、今年も特別参加として幼児年長さんの女の子も作りました。

年上のお姉さん達と同じ格好をして同じ空間で一緒に作るというその特別感だけで嬉しいようで、エプロンに三角巾、マスクをきちんとして少々緊張しながら、恥ずかしそうにしていました。慣れない手つきで、でも心を込めて一生懸命作りながら、たまに「お味見」でペロリッ！！“あま〜い”“おいしい”とニコリ笑顔の幼児さん。



それぞれ出来上がったチョコレートは、あの人に、この人に…愛情いっぱいの感謝の気持ちを込めて、今年も女の子の一大イベントが無事終わりました。





### \* 調理室だより \*

調理員 武田絵里子

外で行われる行事のお昼ご飯のために作ることの多いおにぎり。愛育園に来るまでは一度に 100 を超える数のおにぎりを作ったこともなく、初めて作ったときは衝撃的でした。

そんなおにぎりですが、実は簡単なようで難しいものです。大きさを揃えるためにお椀を使ってご飯の量を調節しながらバットにご飯を並べ、次に丸めて海苔をつけていきます。海苔もただつければいいのではなく、海苔の裏表に気を付け、おにぎりが綺麗に隠れるように、そしてご飯が冷めないうちに急いでつけていきます。おにぎりが出来上がってもまだまだやることはあり、ホッとしないでられません。ラップで包み、一人用に袋に入れていきます。そうして作ったおにぎりをお昼に美味しそうに食べているのを見ると、嬉しくなります。

おにぎり作りはスピードと正確性が求められる作業です。私はどちらかというと雑で遅い方なので、最初はとても作るのに苦戦しました。それが行事の度に作り、約二年。少しは綺麗なおにぎりがつくれるようにはなりましたが、まだまだ…。おにぎりと共に自分も成長していけるよう頑張りたいと思います。

### ホームだより

#### あおぞらホームだより

あおぞら保育士 内山和也

3 月に入り、今年度の終わりも着々と近づいてきました。今年、当あおぞらホームからは 2 名の子どもが巣立っていきます。2 人とも 15 年以上を当園で過ごして来ました。3 月 23 日の卒園式に向けて、自立の準備を進めております。本当に高校に入れるのかと、本人も職員も頭を抱えていたのがつい昨日の事のように思い返され、本当にあっという間の 3 年間でした。

卒園式が終わり、4 月に入れば一人の社会人として生活をしていかなければなりません。いままで長い間大きな集団で生活をして来ましたが、常に誰かがそばにいてくれました。しかし 4 月からは一人です。不安もあるかと思いますが、今まで愛育園で生活をしてきて身に付けてきたことを自信に変えて、自分の人生を精一杯生きていって欲しいと願っています。

そして、残された高校 2 年生以下の子ども達。一日一日を大切に、しっかりと社会への一歩を踏み出せるようにこれからも支援していきたいと思っています。

#### まごころホームだより

保育士 上原美恵子

例年になく記録的な大雪に見舞われた 2 月、降り続く雪を憂鬱そうに眺めている職員をよそに、子供達はどんどん降り積もる雪を見て大はしゃぎでした。そして「子供は風の子」晴れ間を見ては一斉に外に飛び出し、深く降り積もった雪の中にズボズボ入ったり、雪合戦をしたりと、改めて雪は子供達への天からの最高の贈り物だなーと感じました。

小学生はこの時期学習発表会がありました。大勢の父兄の前で、緊張したり恥ずかしそうな表情をしながらも、一年間の練習の成果を見せようと、けん玉、縄跳び、合唱、合奏、劇などの発表に一生懸命でした。また小 4 の A さんのクラスでは二分の一成人式があり、日頃の感謝の気持ちを作

文にして発表してくれていました。

卒園を目前に控えた高校 3 年生は、運転免許習得を目指して足しげく教習所に通ったり、合間を見て卒園後の生活のためにアルバイトに行ったりと慌しく生活しています。もうすぐ卒園してってしまうという寂しさはありますが、胸を張って社会に出て行けるように出来る限り応援していきたいと思います。

#### そよかぜホームだより

ホーム長 平田愛美

今年度も残すところあとわずかとなって参りました。先日の大雪では我がホームの児童たちも大興奮でした。小学校 3 年生の男児は雪かきが気に入ったようで、帰園後や、休日の時間があるときには、「先生～雪かきしてきていい?!」と張り切っています。おかげで毎日の宿題は猛スピードでこなしてきます。

そんな中、2 歳の男児が入所になり、我がホームの雰囲気もがらりと変わりました。今まで一番年下だった K さんと S くん。突然お兄さんになっちゃいました。まだまだわがママも言いますが、やはり自分より小さい子に負けていられないと思うのでしょうか、ここへきて大成長です。

現在年長さんの 3 人も、4 月の小学校入学へ向けて着々と心身の準備を行っています。もう今すぐにも小学校に行きたいと言わんばかりに張り切って、小学校入学を心待ちにしているようです。